

第13巻第1号 (2018年1月号)



シルバーリハビリ体操指導士養成事業に学ぶ、住民主体型介護予防

茨城県におけるシルバーリハビリ体操指導士養成事業の概要●今給里佳，他

住民主体型介護予防事業—事業継続・展開の5つのポイント●大川沙緒里，他

シルバーリハビリ体操指導士養成事業および体操普及活動の状況●齋藤由香，他

総合事業との協働●石塚孝之，他

シルバーリハビリ体操指導士養成事業の質・量の広がり●大田仁史



第12巻第12号 (2017年12月号)



地域包括ケアにおける認知症者のサポート施策の展望

認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）—第2の柱“認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供”の推進に向けて●延 育子

地域での認知症初期集中支援チーム事業の実践—世田谷●高橋裕子

世田谷区における認知症初期集中支援チームにかかわって●村島久美子

大分における認知症初期集中支援チームの取り組みと課題●川井梨沙

認知症初期集中支援チームを開始して—大分県杵築市●篠原美穂

「家族の会」の活動と初期支援についての期待

—心理的負担に対する支援の必要性和そのあり方に関する考察●田部井康夫



第12巻第11号 (2017年11月号)



スポーツで生き活きと！

インタビュー：障がい者スポーツ推進の現状と展望

—公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の取り組みから●水原由明

障害者スポーツの推進の取り組み

—障害者スポーツ文化センター横浜ラボールの取り組みから●田川豪太

新しいパラスポーツを創ろう—パラコネクトプロジェクト●深澤 文

障がい者スポーツを知ろう—ルールと見どころ●秋元宏太，他



第12巻第10号 (2017年10月号)



地域を支える多職種協働

日本介護支援専門員協会の取り組み

—地域を支えるケアマネジメント専門職を目指して●七種秀樹

薬剤師の役割と多職種連携●有澤賢二

歯科衛生士の多職種協働への取り組み●武井典子

暮らしの「食」を支える多職種協働—医療ソーシャルワーカーの立場から●山崎まどか

福祉用具専門相談員の役割と連携●湯脇 稔

在宅高齢者・障害者を支える義肢装具士の役割と課題●大西忠輔，他



第12巻第9号(9月号) 在宅における心臓リハビリテーション

第12巻第8号(8月号) 高齢者の下肢病変と在宅支援

第12巻第7号(7月号) 脳性麻痺者の加齢による変化と対応

第12巻第6号(6月号) 在宅における呼吸リハビリテーション

第12巻第5号(5月号) ケアマネジメントのこれから

第12巻第4号(4月号) 地域リハビリテーションの新展開